

# 2026年1月の天候（山形県）

## 目 次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位更新
- 7 その他

## 山 形 地 方 気 象 台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L    023-622-0632

### [注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田・新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

## 1 天候経過（2026年1月）

### 【今月の特徴】

#### ○降水量が多い

- ・金山、櫛引、尾花沢、荒沢、左沢、小国で月降水量の多い方から1月として1位、新庄で3位を更新した。

### 【概況】

月

この期間、上旬・下旬は冬型の気圧配置となり雪の降る日が多く、中旬は低気圧や気圧の谷の影響で雪や雨の日が多かった。期間のはじめと中頃には、強い冬型の気圧配置となり大雪となる所があった。期間を通じて降水量が多く、1月の月降水量の多い方から1位を更新した地点があった。

月平均気温は、村山で平年並、置賜・庄内・最上で平年並から低い。月降水量は、村山・庄内は、平年並から多く、かなり多い所があった。置賜・最上は、多く、かなり多い所があった。月間日照時間は、村山は少なく、多い所やかなり少ない所があった。置賜・最上は、少なく、かなり少ない所があった。庄内は平年並から少ない。月降雪量は、村山は、平年並から多い。置賜は、平年並。庄内は、平年並から少ない。最上は、平年並から多く、かなり多い所があった。

上旬

この期間、冬型の気圧配置が多く、雪や雨となる日が多かった。期間のはじめには、冬型の気圧配置が強まり、大雪となった所があった。

旬平均気温は、村山・庄内・最上は、平年並で、村山は、低い所があった。置賜は、低い。旬降水量は、平年並から多く、村山・置賜は、かなり多い所や少ない所があった。庄内は、かなり多い所があった。旬間日照時間は、村山・庄内・最上は、平年並から多く、置賜は、平年並。旬降雪量は、村山・庄内は、平年並から少なく、置賜・最上は、平年並から多く、置賜は、少ない所があった。

中旬

この期間は、低気圧や前線の影響を受ける日が多く、雪や雨の日が多かった。期間のはじめは、強い冬型の気圧配置となり、大雪になった所があった。

旬平均気温は、村山・置賜は高く、村山ではかなり高い所があった。庄内・最上は平年並から高く、庄内はかなり高い所があった。旬降水量は、村山・置賜・庄内は多く、かなり多い所があった。最上はかなり多い。旬間日照時間は、平年並から少なく、村山はかなり多い所やかなり少ない所があった。置賜・最上はかなり少ない所があった。旬降雪量は、村山は平年並から少なく、置賜・最上は平年並、庄内は少ない。

下旬

この期間、冬型の気圧配置が続き、雪の降る日が多かった。また、強い寒気が流入したため気温が低い日が多かった。

旬平均気温は、低く、かなり低い所があった。旬降水量は、村山・庄内は、平年並から多い所と少ない所があり、村山はかなり多い所があった。置賜は、平年並から多く、かなり多い所があった。最上は、多く、かなり多い所があった。旬間日照時間は、村山・庄内は、平年並から少なく、かなり少ない所があった。置賜・最上は少なく、かなり少ない所があった。旬降雪量は、村山・置賜は、平年並から多く、村山はかなり多い所があった。庄内・最上は、多く、最上は、かなり多い所があった。

## 2 日々の気圧配置（2026年1月）

- 1日：日本付近は、冬型の気圧配置となる。
- 2日：日本付近は、冬型の気圧配置となる。
- 3日：日本付近は、冬型の気圧配置となる。
- 4日：北日本は、冬型の気圧配置となる。
- 5日：日本付近は、冬型の気圧配置となる。
- 6日：日本付近は、冬型の気圧配置が、次第に緩む。
- 7日：高気圧が、日本の東を東へ移動する。一方、低気圧が、日本海を北東へ進む。
- 8日：北日本は、寒冷前線が通過し、次第に冬型の気圧配置となる。
- 9日：日本付近は、冬型の気圧配置となる。
- 10日：高気圧が、日本の東にあって東へ移動する。一方、低気圧が、朝鮮半島から日本海北部へ進む。
- 11日：寒冷前線が、北日本を通過し、冬型の気圧配置が強まる。
- 12日：日本付近は、強い冬型の気圧配置となるが、次第に緩む。
- 13日：低気圧が、日本海から北海道に進み、寒冷前線が、日本付近を通過する。
- 14日：北日本は、冬型の気圧配置になるが、次第に緩む。
- 15日：低気圧が、日本海を東へ進み、温暖前線が東北地方にのびる。
- 16日：寒冷前線が、東北地方を通過し、寒気の影響を受ける。
- 17日：低気圧が、日本海から東北地方を通過して三陸沖に進む。
- 18日：冬型の気圧配置が次第に緩み、高気圧が、北日本を覆う。
- 19日：低気圧が、日本海から東北地方を通過して三陸沖に進む。
- 20日：本州付近は、冬型の気圧配置となる。
- 21日：日本付近は、強い冬型の気圧配置となる。
- 22日：日本付近は、強い冬型の気圧配置となる。
- 23日：本州付近は、強い冬型の気圧配置となり、低気圧が、北海道に停滞する。
- 24日：本州付近は、強い冬型の気圧配置となり、低気圧が、北海道に停滞する。
- 25日：日本付近は、強い冬型の気圧配置となる。
- 26日：日本付近は、冬型の気圧配置が次第に緩み、低気圧が、中国東北区から日本海へ進む。
- 27日：低気圧が、日本海から東北地方を通過して三陸沖へ進む。
- 28日：本州付近は、冬型の気圧配置となり、低気圧が、北海道をゆっくり南へ進む。
- 29日：本州付近は、冬型の気圧配置となり、低気圧が、北海道に停滞する。
- 30日：日本付近は、強い冬型の気圧配置となる。
- 31日：日本付近は、冬型の気圧配置となる。

### 3 気候統計値（2026年1月）

・2026年1月の平均気温、降水量、日照時間

		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本 年	平年差 （℃）	階級区分	本 年	平年比 （%）	階級区分	本 年	平年比 （%）	階級区分
山形	上旬	0.3	-0.1	平年並	19.0	60	少ない	25.0	113	平年並
	中旬	1.0	+1.3	高い	49.0	191	多い	23.4	82	少ない
	下旬	-2.2	-1.8	低い	15.0	50	少ない	22.4	78	少ない
	月	-0.4	-0.3	平年並	83.0	95	平年並	70.8	89	少ない
酒田	上旬	2.5	-0.1	平年並	69.5	100	平年並	12.6	121	平年並
	中旬	2.6	+0.8	平年並	104.5	211	かなり多い	6.1	50	少ない
	下旬	-0.4	-1.9	低い	49.5	84	平年並	7.6	54	少ない
	月	1.5	-0.4	低い	223.5	126	多い	26.3	71	少ない
新庄	上旬	-0.5	-0.2	平年並	101.0	114	多い	13.5	139	多い
	中旬	0.1	+1.1	高い	109.0	158	かなり多い	9.4	74	平年並
	下旬	-2.7	-1.6	かなり低い	129.0	160	かなり多い	7.9	54	かなり少ない
	月	-1.1	-0.3	平年並	339.0	142	かなり多い	30.8	83	少ない
米沢	上旬	-1.2	-0.9	低い	69.5	119	多い	16.7	99	平年並
	中旬	0.3	+1.2	高い	93.5	197	かなり多い	23.3	106	平年並
	下旬	-3.1	-1.9	かなり低い	111.5	208	かなり多い	13.1	57	かなり少ない
	月	-1.4	-0.6	低い	274.5	172	かなり多い	53.1	86	少ない

【注】次の表示 X:欠測 ) : 準正常値 ] : 資料不足値 - : 現象なし (平年値は1991～2020年の平均値)

・2026年1月の降雪量（降雪の深さの合計）と最深積雪

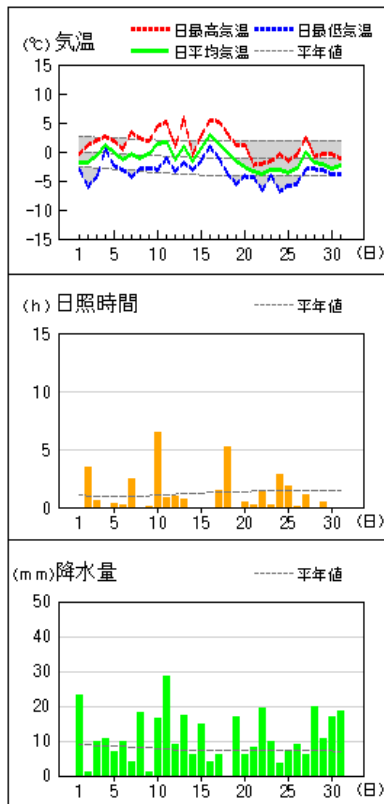
地点	降雪量					最深積雪					
	本年 (cm)	平年 (cm)	平年比 (%)	階級区分	昨年 (cm)	本年		平年 (cm)	平年比 (%)	階級区分	昨年 (cm)
						(cm)	起日				
酒田	94	85	111	平年並	57	24	24 日	25	96	平年並	35
金山	321	281	114	多い	217)	139	31 日	112	124	多い	99)
狩川	173	209	83	少ない	120	71	31 日	59	120	多い	52
新庄	358	233	154	かなり多い	197	147	31 日	108	136	多い	74
向町	307	277	111	多い	188	133	31 日	108	123	多い	96
櫛引	208	199	105	平年並	147	71	31 日	64	111	平年並	69
肘折	497)	459	108	平年並	336	288)	31 日	266	108	平年並	244
尾花沢	413	322	128	多い	157)	182	31 日	129	141	多い	117)
大井沢	449	378	119	多い	363	236	31 日	209	113	多い	260
左沢	259	227	114	多い	187	75	31 日	62	121	多い	72
山形	87	103	84	平年並	103	15	26 日	40	38	かなり少ない	30
長井	275	260	106	平年並	195	90	31 日	88	102	平年並	80
小国	363	336	108	平年並	270	162	31 日	139	117	多い	151
米沢	309	267	116	平年並	223	97	31 日	88	110	平年並	113

【注】次の表示 X:欠測 ) : 準正常値 ] : 資料不足値 - : 現象なし (平年値は1991～2020年の平均値)

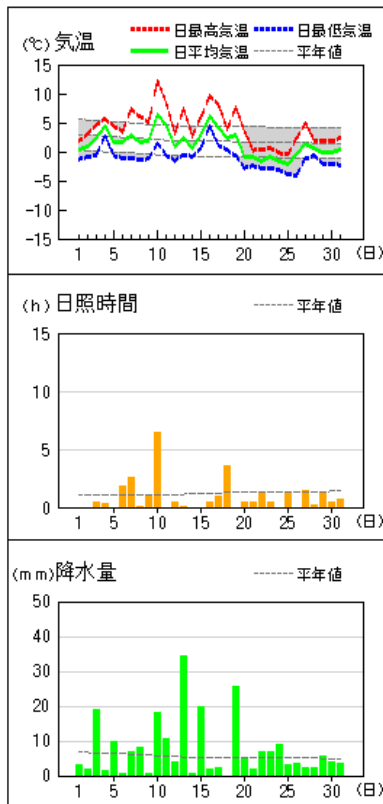
## 4 気象経過図（2026年1月）

アメダス 気象経過図：2026年01月01日-2026年01月31日

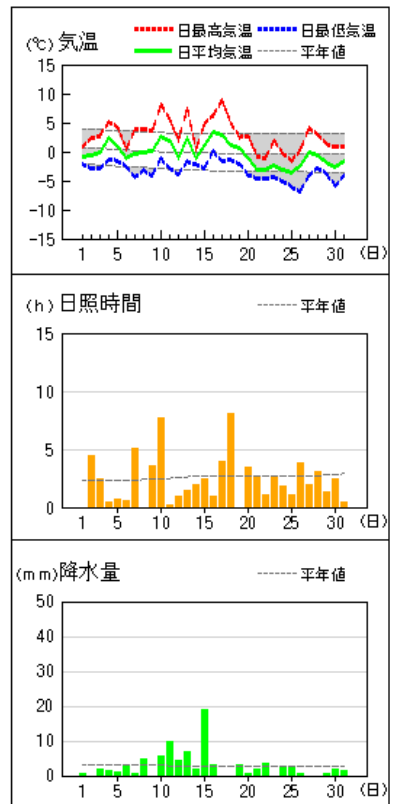
新庄



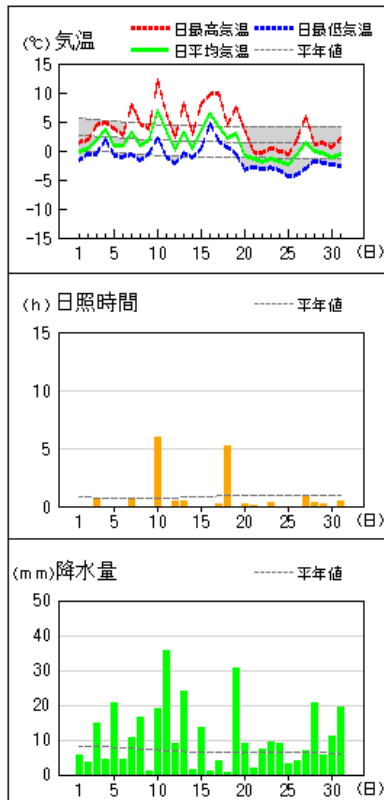
酒田



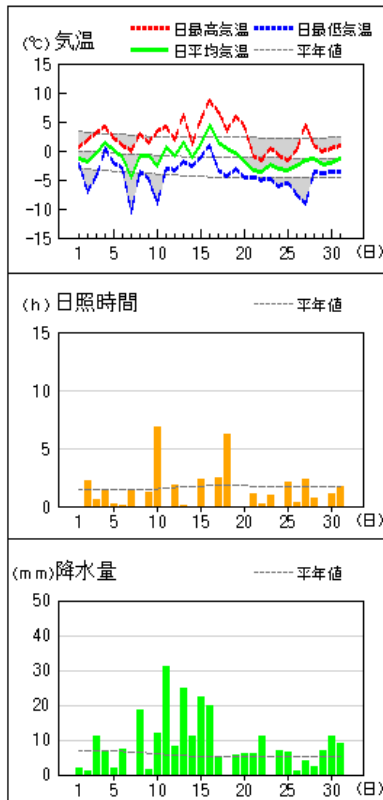
山形



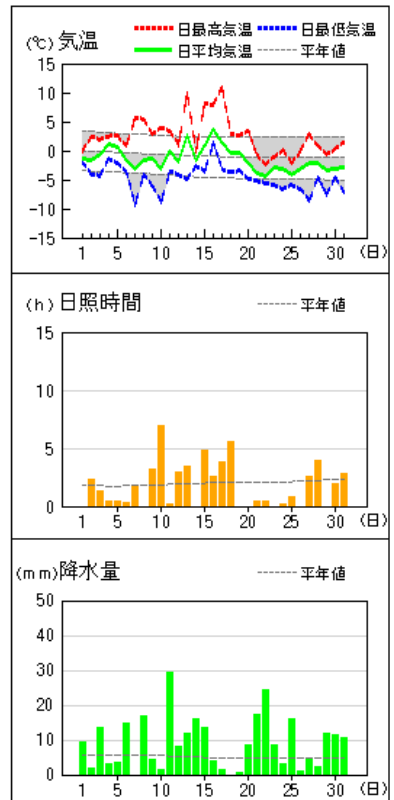
鶴岡



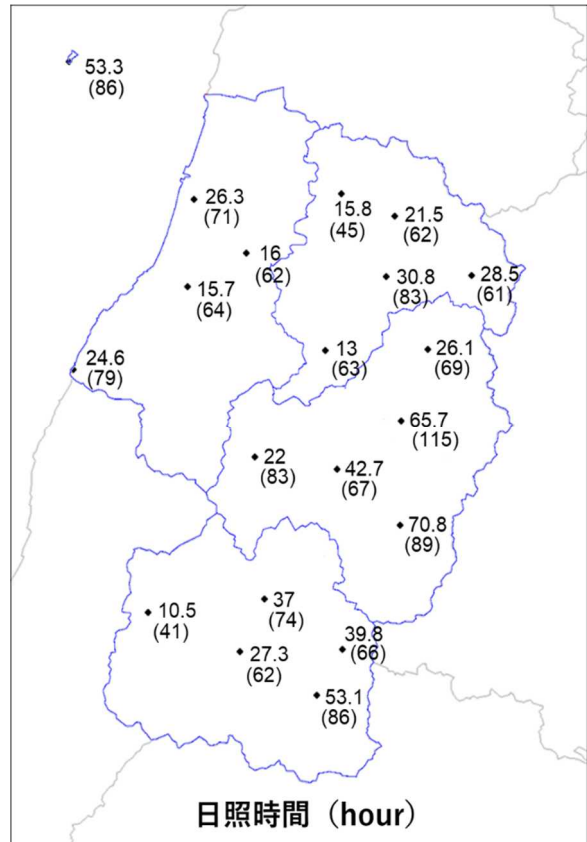
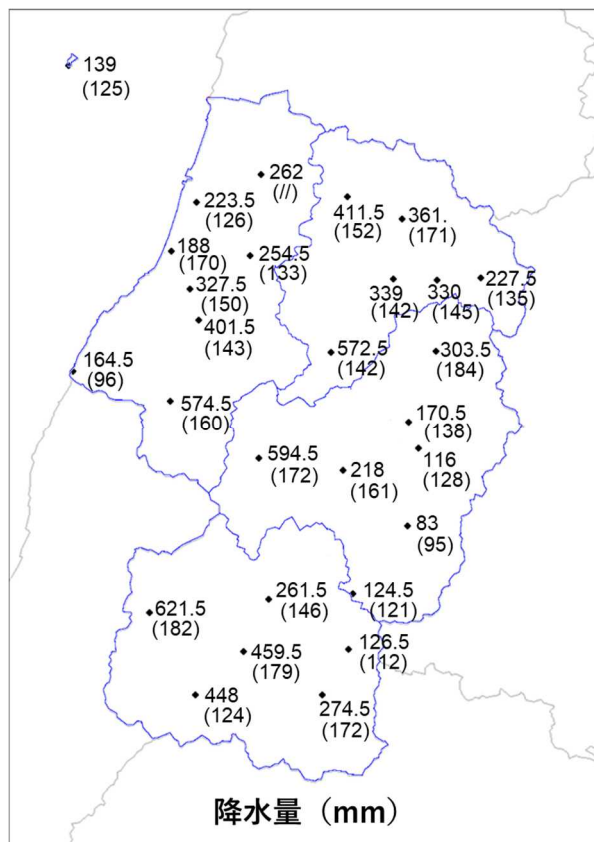
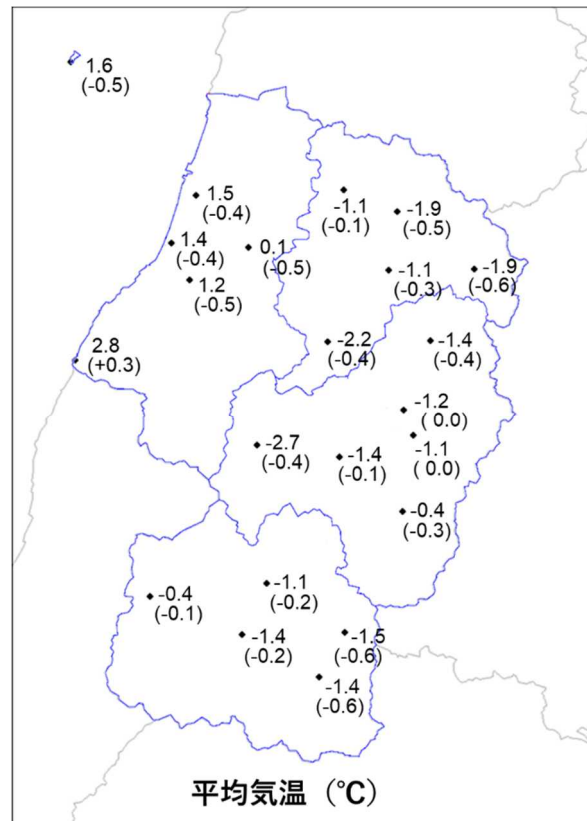
長井



米沢



## 5 気象分布図（2026年1月）



注】Xは欠測、)は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の( )内は平年差(°C)、降水量の( )内は平年比(%)、日照時間の( )内は平年比(%)を示す。

//は平年値なし。平年値は1991～2020年の平均値。

## 6 極値・順位更新 (2026年1月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄): 1月として1位～3位更新を記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
月降水量の多い方から (mm)	新庄	339.0	3	—	1958年
日最小相対湿度	酒田	30	3	10日	1950年

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く): 1月として1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
月降水量の多い方から (mm)	金山	361.5	1	—	1977年
	櫛引	401.5	1	—	1981年
	尾花沢	303.5	1	—	1976年
	荒沢	574.5	1	—	1980年
	左沢	218.0	1	—	1977年
	小国	621.5	1	—	1977年
日最大1時間降水量 (mm)	小国	15.0	1	16日	1977年
日最大10分間降水量 (mm)	左沢	2.0	1	10日	2009年
	上山中山	2.5	1	10日	2009年
	小国	6.5	1	16日	2009年
	高峰	3.0	1	22日	2009年

※ 同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

## 7 その他

なし

※各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は、気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>  
 【気象データのダウンロード(CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>  
 【季節予報】 [https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area\\_type=offices&area\\_code=060000](https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=060000)